

A7342

711系100・200番代 新塗装 3扉改造車+冷風装置取付車 下枠交差パンタ 6両セット



予価：¥35,200 (本体価格 ¥32,000)

ボックス入 (カートン入数：12)

商品形態

Nゲージ塗装済完成品 (主素材：ABS樹脂製)

対象年齢14歳以上

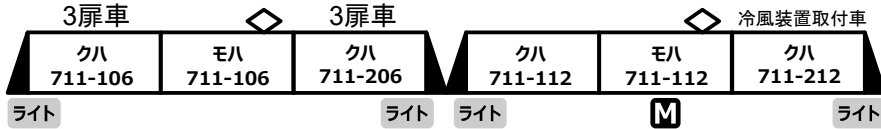
実車紹介

711系は1967年に登場した北海道初の交流電車で、厳しい寒さに対応するため2扉デッキ付きとなり、急行型に近い内装となっています。モーターの冷却風取入口は雪の侵入を防ぐため雪切室が設置されています。100・200番代は1980年の千歳線・室蘭本線の電化によって登場したグループで、クハ711-100番代のトイレが省略されたほか、側面に電動行先表示器が取り付けられました。登場当初は赤2号に前面下部はクリーム4号の警戒色の塗装でしたが、1984年からより明るい色調の赤1号にクリーム1号の帯を配した塗装に変更されました。

JR北海道では札幌周辺の混雑緩和対策として1987年より一部の編成のクハ711形の側面中央に扉を増設し3扉に改造されました。未改造車と区別するため側面扉のクリーム帯の上下に細い帯が追加されているのが特徴です。1992年にはS-112編成3両に対して各車異なる混雑緩和対策の試験を実施しました。モハ711-112は座席を全てロングシートに変更、クハ711-212の屋根上に冷風装置の取り付けを実施しました。また、3両全てデッキ仕切り扉、車端部のロングシートを撤去しています。

その後も後継の721系・731系などとともに活躍を続けましたが、733系の投入により2015年3月改正で引退しました。

編成図



ヘッドライト
テールライト 点灯
前面表示器

M 動力車

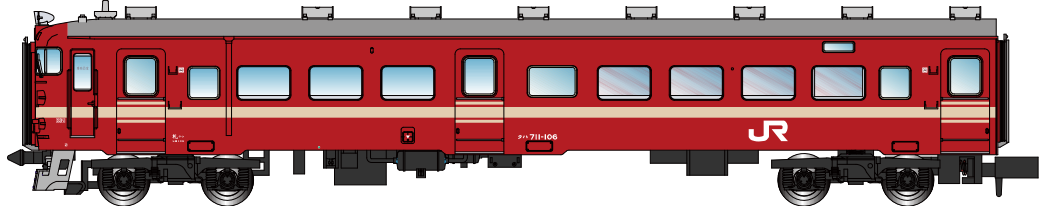
※前面表示器は前進時のみ点灯します

商品概要

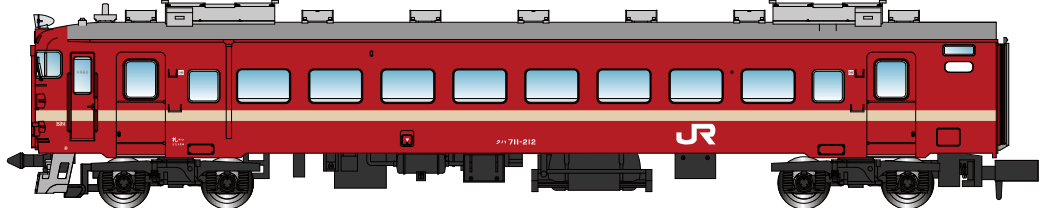
- A3877/3878(2012年5月/2009年6月出荷)を基にしたバリエーション製品。
- 各種標記、色味を再検証の上見直し。前面表示器上部のヘッドライト点灯。
- 碇子(がいし)と一部の高圧配管は緑色、パンタ脇のランボードは水色で表現。
- 下枠交差パンタ搭載の1990年代後半～2000年頃の姿。
- 3扉改造車のクハ711形は専用金型で室内も再現。
- S112編成のクハ711-212のみに搭載されている屋根上の冷風装置を再現。

※部品共用のため、一部実車と異なる部分があります
JR北海道商品化許諾済

クハ711-106 3扉車



クハ711-212 冷風装置取付車



付属品

行先シール

オプション

室内灯 幅広室内灯 (G0001/G0002/G0003/G0004)

カプラー マイクロカプラー 密連・黒 (F0001)



株式会社 マイクロエース TEL：048-444-2944
FAX：048-445-3407

製品の仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので予めご了承をお願いします
本資料の改変、写真およびイラストの複製・改変・二次使用を禁止します
記載の内容は弊社の調査・見解に基づくものです